２０２４年１１月１日発行　第３５号

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒３５０－０３１４　埼玉県比企郡鳩山町
楓ケ丘２－２－１かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール　kawasemi3001@gmail.com

☎０４９－２２７－３００１　ＦＡＸ　０４９－２２７－３０６８　ホームページ　https://hatoyama.info/

１１月・１２月の活動予定

■下熊井の皆さんと一緒に休耕地の草刈り

▲昨年１１月５日に西福寺前草刈り作業をした皆さん

今年で４年目になる奥武蔵ＭＴＢ友の会との共同企画である地域連携事業です。１１月１０日（日）午前９時より午前中、下熊井の石場沼下の住民の皆さんの草刈りに参加します、作業場所の休耕地は、ススキやヨシなどの背の高い草がびっしり生えていて、山から下りて作物を荒らすイノシシの格好の身の隠し場になっていて、草刈りは必須ですが、人手不足で手が付けられないでいる場所です。先日、観察会で山に入ったら太い倒木が１本倒れていました。当日、友の会は二手に分かれて、熊井の森の散策路の倒木処理作業も行うかもしれません。

地元にはすでに、草刈り実施案内は回覧済みです。草刈りは刈った草の運搬始末とか、枝払いなど、仮払機は使わない作業もいろいろあります。草刈りに参加いただける方は、直接、９時に西福寺前に来るか、８時半にかわせみハウス前に来てください。相乗りして現地に向かいます。地元の方々との連携事業です。是非みなさんのご協力をお願いいたします。

■熊井の森のパノラマ撮影

１１月１０日（日）午後（時間未定）、環境フォーラムのプロモーションビデオ制作に協力いただいた堀内さんに、新たに、熊井の森全景のパノラマ撮影をお願いしてあります。天候等の都合で実施は１１月１６日に変更になるかもしれませんが、撮影サポートあるいは見学に来てください。ドローン撮影に興味のある方はご一報を。

■第１９回エコフェスタ比企in鳩山を開催

１１月２日（土）午前８時半、スタッフ集合。テント張り、出店者用ブルーシート張り等の準備を始めますので、お手すきの方はお手伝いをお願いします。このイベントは環境フォーラムの活動ＰＲの機会ですが、新刊本などのバザー売り上げが年々減り、テナント数をもっと増やすとか、売れるものを用意するとかの、新たな活動資金づくりの工夫が必要です。翌日（３日）からは鳩山町中央公民館での文化祭にも参加します。店番スタッフを求めます。

■１１月はトラスト地の草刈り集中実施月間

野鳥の営巣時期に配慮して作業を控えてきましたが、いよいよ汗かき仕事の時期がやってきました。作業日は下記の「活動スケジュール」をご覧ください。埼玉県の森林ボランティア育成事業の補助金を得て実施するもので、今年で２年目。あと３年間は補助金が出るはずです。作業はトラスト４号地（ピザ窯上の雑木林）の下草刈りと散策路づくりと、トラスト１・２号地(観察小屋周辺）のひこばえ処理です。２号地の一部のひこばえ処理は１０月に終えました。仮払機を使わない軽作業（刈りとった枝の運搬、作業記録など）もあります。参加できる方はご一報を。

１１月・１２月　活動スケジュール

１１月２日（土）午前９時～午後２時　エコフェスタ比企
３日（日）午前８時半～資源回収
午前９時～午後３時　はとやま祭
４日（月）午前９時～午後３時　町中央文化祭
６日（水）午後２時～４時　共同菜園草刈り
７日（木）午前９時～お昼　トラスト4号地散策路整備
８日（金）午前９時～お昼　トラスト４号地草刈り
１０日（日）午前９時～お昼　西福寺前休耕地草刈り
午後１時～　ドローン撮影立会い
１３日（水）午前９時～お昼　トラスト１号地草刈り
１４日（木）午前９時～お昼　トラスト１号地前草刈り
１６日（土）時間未定　ドローン撮影(予備日)
１７日（日）午前９時半～　理事会
午後１時半～　観察会
２６日（火）「熊井の森通信」３６号発行
１２月　１日（日）午前８時半～　資源回収
１５日（日）午前９時半～　理事会
午後１時半～３時　観察会
午後４時～６時　会員・協力者懇親会

１０月の活動報告

■トラスト４号地の散策路設置事前調査

１０月２日（水）午前９時より、トラスト４号地(ピザ窯上の雑木林）の散策路設置個所の候補調査をしました。ピザ窯の奥からシンボル樹木（モミの木）に至る道はすでに付けましたが、そこから上の山頂付近の広場に至るルートをどこにするか。熊井の森のふもとまでやってきたイベント参加者などのために、アナグマや貴重植物の場所を避け、安全にかつ登りやすい散策路を設置するための調査です。候補となるルートは見つけましたので、それをもとに再度検討したうえで、１１月には散策路を作りたいと思います。

■トラスト２号地のひこばえ処理作業

１０月１０日（木）午後９時より、観察小屋の上の方のトラスト地（２号地）のひこばえ処理と下草刈りを行いました。参加者は３人でしたが、そんなに雑木が込み入っていないこともあり、思った以上に作業が進み、日当たりのいいすっきりしました雑木林になりました。来年はシュンランが出て来るかどうか、楽しみです。

なお、同日、これまでトラスト活動用地として提供いただいていた山林利用の契約終了に伴う対応で、石場沼横に設置してあったトラスト看板と赤外線カメラを撤去しました。長い間ありがとうございました。看板は、石場沼入口付近の休耕地に移設する予定ですが、地面が固く、ツルハシで穴を掘って埋め込む必要があり、設置までにはちょっと時間がかかりそうです。

■総勢１７人で青空ピザ野外パーティー

９月２９日（日）最近知り合った鶴ヶ島市在住の方々、東京の知人など１２人をご招待し、当団体のスタッフ5人と共に、ピザ窯体験＆里山散歩を行いました。目的は、熊井の森の素晴らしさと当団体の味覚体験イベントを知っていただくことです。午前１０時集合、早速、熊井の森歩きに出発。クルマで相乗りしてまずは石場沼へ。その後、野鳥観察小屋に周り、奥まで散歩。谷津田の雰囲気を味わっていただき、ピザ窯までクルマで戻りました。で、もはやお昼どき。ピザ焼きのスタートです。昼食後、自己紹介のスピーチタイム。皆さんに大変気にいっていただき、満足してお帰り頂けました。いろんなアドバイスもお聞きすることができ、大成功でした。

■鶴ヶ島の皆さんが別の日にピザ窯利用

１０月１４日（スポーツの日）、青空ピザ野外パーティーに来ていただいた鶴ヶ島のフリースクール支援者グループの有志７人が、何と、仲間を誘って、ピザ窯でピザ焼きを楽しむためにピザ窯を使ってくれました、使用料３８００円なり。外の人に使ってもらう際の使用規定（料金、用具、火付けと消火、駐車場・トイレの利用方法）、管理スタッフの作業内容などを改めて見直し確認し、消火器も１本購入。当日は、嵯峨さんらスタッフ２人で対応。利用者が仲間うちでピザ焼きを楽しめるよう、スタッフの介在をどこまでにするかの判断の必要性、ピザ窯回りの木材を雑然と置いてあるのではなく、燃料にならないならばきれいに片づけること、環境保全団体の運営らしい企画にするに雑木林散歩を組み込む工夫など、いろいろと課題も見つかりました。鶴ヶ島の皆さん、ありがとうございました。

今年度栽培のハト麦収穫と脱穀は無事終了

育ちは今ひとつでしたが、収穫量は約３０kg。足ふみ脱穀機と”新兵器”の「千歯こき」で作業がスピードアップ。これからハト麦の実の選別作業！

▲千歯こきでもくもくと脱穀作業（１０月１６日）

【脱穀作業】

１０月１６日（水）午前８時、参加者４人。足踏み脱穀機を利根川さんの物置から運び出し現地へ。一方、新たに入手した千歯こきも修理して２基持ち込み、刈り取ったハト麦が干されている、畑の斜面の上の方に、機具を運び上げる。足踏み脱穀機の前方下と前方にシートをテント状に設置し、飛び散った実を集められるようにする。この方法は去年思い付いた方法です。

瓜生、愛場で足踏み式脱穀機で脱穀。他に、千歯こき2台で、大平、嵯峨が穂先を千歯こきの刃でしごき脱穀。ハト麦全体量の８割ほどは、足踏み脱穀機で、２割ほどは千歯こきで脱穀。１０時４０分作業完了。

【今年の作業を振り返って】

今年は、雨も適当に降り、恵まれた気候だったと考えていましたが、私たちのハト麦の生育は順調ではなかったようです。今年初めて耕作したこの畑が、長らく放置されていた土地なので、肥沃でなかったせいかもしれないのですが、育ちにムラがありました。一番東側の畝一列のハト麦は、他よりも丈が高くしっかりと育っていました。それは他の列より、日光をより多く受けられたのかもしれません。

西側の他の種を植えたハト麦は、丈も低く、白い実が多かったのは、種を播いた場所が西側だからかでしょうか。

今年の収穫総量は、小枝や枯葉が混じった状態で約３０kgありました。このあと、小枝や枯葉を取り除き、利用できる状態にする仕事が待っています。完全に脱穀した状態で何キロになるか。楽しみです。

来年度は、冬と春に堆肥を漉き込み、早目に作業を始めて、ハト麦を直播きしようかと考えています。ここ数年、落穂から自然に育ったものがしっかり育っているのを見て、それも良い方法かもしれないと思ったからです。元気なハト麦苗を育て上げ、畦の間の草刈りをしっかりやって、ハト麦が雑草に負けないようにしてはどうか、と改善策を相談しています。（嵯峨）

農機具豆知識　千歯扱(こ)き・足踏み式脱穀機

備中ぐわや唐箕など、江戸時代に各藩が新田開発に力を注ぐようになって開発された農機具のひとつ。歯の間に稲束を通すことで、稲の穂先からもみ（籾）を落とす脱穀用農機具。その後、1910年（明治43年）、発明家の福永章一が足踏式脱穀機を発明。足踏式脱穀機は人が踏板を踏むとこぎ胴が自動的に連続回転するように工夫されており、大正年間を通じて全国的に普及した。原理を引き継ぐ自走自脱型脱穀機（ハーベスター）は構造が簡単で故障が少なく、２００７年現在も使っている農家も珍しくなかった。（ウイキペディアより）

ハト麦栽培の１年

▲畝づくり（５月２２日）

▲苗の植え付け（５月２６日）

▲草刈り（７月１３日）

▲肥料撒き（７月２０日）

▲台風対策ハト麦茎の支え立て（７月２２日）

▲ハト麦のハザカケ作業（９月２６日）

▲足踏み式脱穀（１０月１６日）

ニーハオ　熊井の森歳時記

移動と開閉ができる「二刀流」ツチクリ

▲エリマキツチグリ　10月20日　雨の翌日に撮影

秋はいろんなキノコが出る季節です。スーパーに並んでるおなじみの定番キノコはもちろん、林の中にも不思議なキノコがたくさん生えています。先日の観察会で山道の斜面に出会ったエリマキツチグリ（襟巻土栗）はその一つです。

普通のキノコと違って、幼菌は黒褐色で扁平球形の硬い外皮に包まれていて、まん丸い形は栗に似ているのが和名の由来だそうです。成長につれ、外皮が周りの湿度に応じて栗の毬のように裂開し、白い内皮の中の胞子は何かの刺激で飛ばされます。学名「Astraeus hygrometricus」（和訳「星形の湿度計」）はその特徴をうまく表現したものです。

中国語名は「地星」なんですが、外皮が開いた様子は皮剥いたミカンにも見えるんですね。逆に、乾燥気味になると、胞子を保護するため外皮が徐々に閉じて、時には風や動物の通過によってコロコロと転んでまた新しい場所で胞子を飛ばします。ブナ科やマツ科の樹木の力を借りながら、やがて、土から顔を出してユニークな姿を世界にみせます。なんという素晴らしい生存戦略と共生能力でしょうか。自然界の前に、自分がただただひたすら感心です。（王　菲）

森の中へ

自然にふれ、生きものから学ぶ月例散策便り　⑨

シカやイノシシの泥風呂「ぬた場」

▲熊井の森で見つけたぬた場（10月20日）

10月の観察会では「ぬた場」を観察することができました。ぬた場とはイノシシやシカなどの動物が、体表に付いているダニなどの寄生虫や汚れを落とすために泥を浴びる「ぬたうち」をする場所の事で、谷間のぬかるんだ場所に多く見られます。イノシシはこのぬた場で泥浴びをしたのち近くの木に身体をこすりつけるため、乾いた泥の跡から、ぬた場を使うイノシシのおおよその大きさが分かります。

イノシシも他の哺乳類のようにもっぱら夜行性で、普段は臆病なため日中に人目につくことは殆どないのですが、例によって足跡やぬた場、食事の跡などからその地域に暮らしていることを知ることが出来ます。

とは言え、田畑を掘り返したりして荒らすため、農家の方には歓迎されていないのですが、最近改めてジビエとして見直されています。ジビエ肉として美味しく頂こうという機運が盛り上がり始めた矢先、2019年頃から流行しだした豚熱（旧名豚コレラ）によって生息数が激減し、一時は痕跡すら見つけるのが難しくなってしまい、猟師の間でも今年も全然取れないねと言いあうほどでした。ですが、最近になってまた数が増え始めたのか、ぬた場や足跡、食事の跡などを森の内外でちょくちょく見かけるようになりましたので、美味しいイノシシ肉が流通しだすのも、そう遠い話ではないのかもしれません。

（愛場　結偉）

【活動後記】

9月28日(土)、「世界に発信できる鳩山の魅力とは何か」の2回目の報告懇談会を開催。参加者は9人と少なかったが、意見交換タイムで、「鳩山出身の若者たちは生まれ故郷の住民がどんどん減って、寂れていくのをどう思っているのか。何かを地元で実現したい、という夢を持っていないのだろうか」との質問あり。それに対して30代の青年が「夢を語れと言われても、今の若者は小さいときから、『夢を持て、将来何になりたいか』と問われ続けていて、それがプレッシャーでもあった」と。また、「若者は現状に切実な不満がないようだ」とか、「多くの若者は進学して田舎を出てしまうと、定年になるまでは生まれ故郷のことに関心を示さないという現実がある」との意見も。10月26日開催の3回目の懇談会のことを「住民自治会だより」で、鳩山ニュータウンに全戸配布。さて参加者はどのような意見を語るか。

定例観察会　のご案内

開催日　：毎月第３日曜日
場　所　：熊井の森・石場沼下の空き地
　　（駐車場としてお借りしています）
現地集合時間：午後２時（終わりは午後３時過ぎ頃）

はとやま環境フォーラムは熊井の森のより良い在り方を探るため、月に一度、熊井の森に入り、森や周辺の変化を楽しみながら、その時々に出会えた生き物を観察記録する定例観察会を行っています。

ご興味のある方はどうぞお気軽にお越しください。

足の便の都合のつかない方はご一報を。ニュータウンかわせみハウス前に午後１時半に待ち合せて相乗りで向かい、帰りもご一緒できます。